

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		学校施設維持事業		担当課	教育施設課	担当係	施設管理係	管理番号	71111	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	教育基本法、学校教育法				
	小項目	1	「生きる力」を育む学校教育の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		児童・生徒及び園児が安全に学校（幼稚園）生活を送ることができる環境を整備するため、学校施設の適正な維持管理を行うものである。								
目的 ※何のために		児童・生徒及び園児が安全に学校生活を送ることができるようにするため。								
対象 ※誰・何を対象に		学校施設（小学校１９校、中学校１０校、幼稚園８園）								
手段 ※どのように		施設管理上の各種点検の実施及び修繕を行う。								
成果 ※何を求めるか		施設の適切な維持管理を行う。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔教育施設課〕	146,308,663
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔深谷小学校〕	752,340
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔深谷西小学校〕	711,255
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔桜ヶ丘小学校〕	776,692
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	小学校施設整備維持事業〔藤沢小学校〕	720,523
本事業の 主な業務		・学校施設の維持管理							・教育財産の目的外使用許可業務	
		・学校施設台帳の整備保管							・法定点検に基づく指摘事項の修繕	
		・学校施設の調査							・	
		・学校敷地内の樹木剪定							・	
		・学校施設の点検							・	
		・学校施設へのエアコン設置							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		・建物、建築設備定期点検・遊具、体育器具点検・PCB収集運搬、処分・藤沢小トイレ改修工事等	・桜ヶ丘小トイレ改修設計・花園小本校舎外部改修工事・幡羅中北校舎屋上防水改修工事	・桜ヶ丘小トイレ改修工事（Ⅰ期）・大寄小トイレ改修設計・上柴中トイレ改修設計・上柴西小トイレ改修設計	・桜ヶ丘小トイレ改修工事（Ⅱ期）・上柴中トイレ改修工事（Ⅰ期）・上柴西小トイレ改修工事ほか		
事業費	予算（現額）	305,290,000	352,793,000	201,681,000	1,084,145,000		
	決算額	255,205,632	236,348,854	0	0		
	財源内訳	国支出金	34,100,000	0	0		
		県支出金	840,000	62,000	0		
		地方債	77,400,000	56,000,000	0		
		他特定財源	1,270,916	1,279,818	12,409,000	477,006,000	
	一般財源	141,594,716	179,007,036	189,272,000	607,139,000		
人件費	従事職員数（人）	4.99	3.00	3.00	3.00		
	人件費相当試算※	38,731,956	23,608,671	24,589,161	24,589,161		
総事業費試算		293,937,588	259,957,525	226,270,161	1,108,734,161		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	施設修繕及び工事件数		目標値	件						
			実績値		518.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕や整備の必要性や緊急性によるため、目標値を設定できない。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	年間学校施設維持管理費用		目標値	万円						
			実績値		25,995.75					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値をコントロールできないため。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	施設管理上の事故件数施設の 瑕疵による生徒等の傷病		目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		瑕疵による事故を発生させないことが適正なため、目標値は0を設定している。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	施設の老朽化が進み修繕及び工事件数は増加した。 維持管理費用については、大規模な改修工事の件数が減少したため減額となった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	施設管理上の事故の発生もなく、適切な維持管理を行うことができた。
			評価者 施設管理係長 田沼 亮介

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	携帯電話のlogoチャットやビデオ電話機能を活用し、庁舎にいる職員から現場にいる職員へ効率的に指示をすることができ、速やかに現場対応をすることができた。
			評価者 施設管理係長 田沼 亮介

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	学校施設長寿命化計画による実施計画について、財政状況により計画が遅れている。各学校から相談を受けた不具合箇所や各点検・維持管理業務委託からの指摘事項等について、速やかに状況を確認するとともに、児童生徒等の安全確保の観点から優先順位をつけて、学校とも連携を密にしながら適切な修繕及び工事を行う。
達成状況及び その効果	各点検・維持管理業務委託からの緊急性の高い指摘事項について優先的に修繕を実施し、また、学校から報告を受けた不具合箇所については現場の状況を確認し、危険性がある箇所や学校運営に影響がでる箇所について改善することができ、施設管理上の事故を未然に防ぐことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	学校施設維持事業	担当課	教育施設課	担当係	施設管理係	管理番号	71111
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>施設の老朽化が進み修繕・工事費等の増加が見込まれる。今後についても適切な維持管理を実施していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 中島 武彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	施設の老朽化が進み、各点検・維持管理業務委託からの指摘事項や学校から施設に関する不具合の報告の増加が見込まれるなか、適切な維持管理を実施するため速やかに現場の状況を確認し、施設の運営や児童生徒等の安全確保の観点から優先順位をつけて、学校とも連携を密にし適切な修繕及び工事を行う。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	学校教育課で検討しているプール施設のあり方、教育総務課で作成を進めている学校適正規模・適正配置及び学校施設長寿命化計画における実施計画の進捗状況を確認しながら、修繕の必要性を確認し、維持管理のコスト削減を図る必要がある。

8. 評価指標グラフ

